

令和5年年度在宅医療介護連携推進事業 広報啓発部会（案）

1. 目的

市民が在宅医療や介護について理解し、在宅療養に必要なサービスを適切に選択できるようにする。また、適切な在宅療養を継続するために、終末期ケアの在り方や在宅での看取りについて理解促進をする。

2. 部会委員

職種	氏名	所属	役割
歯科医師	吉寄 太朗	吉崎歯科医院	部会長
医療相談員	白井 健志	三郷中央総合病院	副部会長
社会福祉士	★趙 理明	地域包括支援センター早稲田	
介護支援専門員	杉山 郷美	福祉のニッカ介護相談室	
介護福祉士	栗原 一樹	デイサービスセンター采女の里	

※「★」は令和5年度からの新規委員です。

3. スケジュール

令和5年6月	第1回部会	
7月	第2回部会	
9月	第3回部会	
令和6年1月	第4回部会	(今年度の評価及び次年度の方針検討)

4. 実施内容 令和4年までの内容～

- ・ACPに関する普及啓発（県作成DVDあり）
- ・啓発物の作成、配布

※市民講演会

H29年度：(特養での看取り 石飛幸三医師)、

H30年度：(在宅での看取り 小笠原文雄医師) 開催、医師会作成のエンディングノートの配付

R1年度：介護ミニ講座（介護サービスの入り口（包括）をメインに2か所で開催）

※市民向け啓発物配布

R2年度：市民の医療介護の相談と理解促進への入り口として「介護の絵本」B5冊子3000部制作及び配付

R3年度：人生会議へきっかけと理解促進への入り口として「人生会議の絵本」B5冊子2000部制作及び配付

R4年度：在宅看取りへきっかけと理解促進への入り口として「在宅看取りの絵本」B5冊子3000部制作及び配付

5. 予算 40万

科目	内容	金額(円)
謝金	講師謝金(120,000円×1回×1人)	120,000
外注費	Zoomオペレー3名(内出張1名)	240,000
賃借代	会場代 終日	20,000
消耗品	印刷・用紙代等	20,000

6. 在宅医療介護について市民に対する啓発課題

- ①三郷市在宅医療介護連携推進協議会で出ている市民に対する課題と対策案
課題：在宅看取りについて、市民が考える、触れる環境が少ない
対策案：絵本を活用し、市民同士で読み合わせ、自由討論をする
- ②令和4年までの広報啓発部会で啓発活動を行っている三郷市の課題
 - ・ACP(看取りを含む)の普及啓発
 - ・日常の療養、医療介護サービスについての知識啓発

7. 今年度の方針案について

令和2～4年まではコロナ感染症まん延の影響で市民への会場を利用した講演や研修を行う事が難しく、啓発冊子配布を行う事になりました。

絵本風冊子(介護の絵本)(人生会議の絵本)(在宅看取りの絵本)が完成し、医療介護の支援が必要な方やACPについて、市民への啓発へ一連の流れをまとめることができました。

今年度はコロナ感染症の影響が少なくなり、これらの啓発冊子を利用しながら、市民に周知するため、会場での講演や研修会ができるよう検討していきます。